

授業科目	* 初年次セミナー I				単位	1		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	EN10201J		
開講年次	1 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	大谷 浩、ブラウン馬本 鈴子							
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探究していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナー I および II で構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。</p> <p>初年次セミナー I では、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、ノートの取り方、本の読み方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索、インターネット等のIT 活用法など、大学で主体的に学ぶ技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を鍛錬・強化できる。(DP1-1) 2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1) 3. 他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べることができる。(DP3-1) 4. グループ学習において、目標達成にむけて他者と協力し行動できる。(DP3-1) 5. 課題解決のために、探究する姿勢を身につけることができる。(DP4-1) 6. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	40	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)			30	30			60	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5	5		10	20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)			5	5		10	20	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができ、自らが積極的に課題を探究し、他者と相互に学び合う関係を築くことができる。				大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につけることができ、他者と共同し学ぶ姿勢がみられる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	大学での学びとは ・大学とは ・大学で学ぶためのスタディ・スキルズとは (新谷恭明)	合同講義	該当部分の予習復習	90
2	「説得力のある文章を書く」: 教科書: pp.30-33 Can-Do=意見文の中での「主張」「話題」「理由」「説明」の各役割について、説明ができる。 教科書: pp.7-15 質問受付	講義・演習	該当部分の予習復習	90
3	「色々な文章を書いてみよう1」: 教科書: pp.38-39 Can-Do=自分の意見や感想について、説得力のある文章を書くことができる。 教科書: pp.34-37 質問受付	講義・演習 レポートを回収	該当部分の予習復習	90
4	「色々な文章を書いてみよう2」: 教科書: pp.38-39 Can-Do=書いた文章について、クラスメートにアドバイスやコメントを与え/もらい、書き直すことができる。	講義・演習 前回提出したレポートをクラスメートと見せ合いフィードバックを受け、書き直し、再提出	該当部分の予習復習	90
5	「自分自身の文章を書く」: 教科書: pp.23-29 Can-Do=引用のルールと方法について、説明ができる。	講義・演習 自分のプレゼンテーションの日を選び、テーマを決める	該当部分の予習復習	90
6	「色々な文章を書いてみよう3」: 教科書: pp.38-39 Can-Do=添削課題のコメントに基づき、文章を書き直すことができる。	講義・演習 業者添削返却とレポート最終提出	該当部分の予習復習	90
7	プレゼンテーションの仕方説明 「メモをとる」 教科書: pp.42-47 質問受付	講義・演習 グループワーク	該当部分の予習復習	90
8	プレゼンテーション1 発表順位1-7番の学生は発表 「要点をまとめる」 教科書: pp.48-52 質問受付	講義・演習	該当部分の予習復習 プレゼンテーションの準備と振り返り	90
9	プレゼンテーション2 発表順位8-14番の学生は発表 「ノートをつくる」 教科書: pp.53-57 質問受付	講義・演習	該当部分の予習復習 プレゼンテーションの準備と振り返り	90
10	プレゼンテーション3 発表順位15-21番の学生は発表	講義・演習	プレゼンテーションの準備と振り返り	90
11	プレゼンテーション4 発表順位22-28番の学生は発表	講義・演習	プレゼンテーションの準備と振り返り	90
12	プレゼンテーション5 発表順位29-36番の学生は発表	講義・演習	プレゼンテーションの準備と振り返り	90
13	プレゼンテーション6 発表順位37-44番の学生は発表	講義・演習	プレゼンテーションの準備と振り返り	90
14	プレゼンテーション7 発表順位45-52番の学生は発表	講義・演習	プレゼンテーションの準備と振り返り	90

15	プレゼンテーション8 発表順位 53-60 番の学生は発表 初年次セミナー I のまとめ	講義・演習	プレゼンテーションの準備と振 り返り	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	日本語の新聞の社説を読める程度の読解力と、高校卒業程度の文章力			
テキスト	「大学生・短大生のための大学での学び方」旺文社 2013			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	授業中適宜紹介する			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	<p>授業でわからないことがあれば、担当教員にいつでも相談してください。</p> <p>教科書が高額ですが、これは2回分の添削代金が含まれているからです。添削は非常にきめ細かく行われ、その価格に見合うと判断しています。</p> <p>後半の発表は、自分が準備したパワーポイントのスライドを映し出すまでに、一定の ICT スキルも必要です。学会発表に限らず、何かの場で発表する時には必要な技術ですから、それも身につけて欲しいと思っています。</p>			
達成度評価に関する コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート 40%は教科書 38-39 ページの添削課題への取り組み方で評価する ・発表 40%は各自が行うプレゼンテーションの仕方や振り返り方で評価する ・その他 20%は授業時における関心・意欲・態度で評価する、なお、1回の欠席で5%減点、2回の遅刻で5%減点する 			